

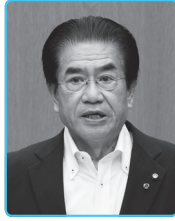
一般質問

この定例会では、議案や市政全般について、21人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

その概要は、次のとおりです。
（ ）内には、各党派等からの質問申し出時間を記載しています。

会派名など	質問者数	質問時間
水曜会	6人	355分
公明党	4人	210分
誠友会	3人	145分
市民連合	2人	145分
日本共産党	2人	145分
新政クラブ	1人	70分
無所属	3人	各30分

*一般質問の録画放送を福山市のホームページで見ることができます。



高田 健司
水曜会 (60分)

まわローズの利用促進策は

問 平成21年2月より運行されているまわローズの運行実績に基づく成果と課題、今後の利用促進策は。

答 まわローズは、中心市街地の主要施設を循環し、気軽にバスを利用できる環境をつくることにより、中心市街地の活性化と公共

交通の利用促進につなげようとするものである。

昨年度の利用者数は約17万人で運行開始時に比べ約1・7倍に増加しており、市中心部の移動手段として定着しつつあると考える。

課題としては、1便当たりの利用者数は約7・8人で、徐々に増加傾向にあるものの、利用者が多いとはいまだ言えない状況がある。今後、利用促進に努めるとともに、利用者ニーズを踏まえた運行ルートの検討と実証実験に向け、バス事業者と連携して取り組んでいく。



大田 祐介
水曜会 (60分)

(仮称)福山市スポーツ協会 設立の目的と効果は

問 体育協会、体育振興事業団、青少年育成事業団の3財団が合併し、(仮称)福山市スポーツ協会が誕生する。合併の目的や、そのめざす効果は。

答 このたびの合併は、効率的な財団運営や組織基盤の強化を図

り、市民サービスのさらなる向上につなげることを目的とするものである。

本市のスポーツ振興や青少年育成を担う公益財団法人が、これまで培ってきた経験や専門性を融合させることにより、新たな発想の事業展開が可能となる。

具体的には、大規模なスポーツ大会の積極的な誘致活動の展開、スポーツの要素を取り入れた青少年の健全育成、スポーツおよび青少年育成の施設の相互活用による利用拡大などが期待される。



榊原 則男
水曜会 (60分)

国際音楽祭の評価と課題は

問 リーデンローズをはじめ市内各会場で「ばらのまち福山国際音楽祭」が開催され、多くの市民が楽しいひとときを過ごされたが、音楽祭の評価と課題は。

答 全体で約1万2千人もの方にご来場いただいたこと、多くの

市民が国内外の演奏家の上質な音楽に触れるだけでなく、コンサートにも一緒に参加し、つながる中で感動を共有できたことなど、音楽の力を改めて感じながら新たな試みの第一歩を踏み出したことは大きな成果と考える。

課題としては、準備期間が短く事業PRが十分でなかったことや運営ボランティアの在り方などが挙げられる。

次年度へ向けて、他都市に無い特色を持つ音楽の祭典として、全国から注目を集める事業となるよう取り組んでいく。

* 6月定例会の一般質問の録画放送を見る場合
福山市のホームページ → 福山市議会 → 議会中継 → ここからご覧ください。